

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岐阜市	代表者名	柴橋 正直
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	行政部デジタル戦略課
担当者役職	係長	担当者氏名	長尾 洋輔
住所	500-8701 岐阜県岐阜市司町40番地1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	生成AIの利活用推進
概要	庁内のDXを推進において、業務の生産性向上に向け、職員が企画立案や挨拶文などの文案作成など、効果的な生成AIツールの活用方法を学ぶ研修の実施及び独自AI機能の導入に向けた助言		
支援を求める分野	生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年9月2日	事前打合せ&支援・助言(オンライン)	14時00分	16時00分	
				活動時間(分)	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大山 水帆
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザーの所属する自治体での先進的な取組事例を踏まえ、本市における生成AIのさらなる効果的な活用(独自AI機能の導入等)に向けた課題について、具体的な助言をいただけたため。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、本市の生成AIの利活用促進に向け、自治体のデジタル推進部署の目線から実践的なアドバイスをいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	4人
	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	4	その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市では、DX人材の育成に向け、職員の階層に応じてDXマインドとスキルを習得する体系的な研修プログラムを実施しており、特に中核的な牽引役であるDX推進リーダーは、より実践型のデジタルスキルを身に付けるためのデータサイエンス、BPR等の研修を受講している。こうした中、業務の生産性向上に向け、令和6年度より本市で新たに導入した生成AIツールの効果的な活用スキルをDX推進リーダー等を中心としながら職員に広く浸透させていくことが必要である。加えて、さらなる業務の効率化を目的に導入検証を予定している「独自AI機能」の仕組み構築も検討課題としている。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	上記のDX推進リーダー等を対象に生成AIツールの効果的な活用スキルを学ぶ研修を実施し、当該スキルを職員に広く浸透させていくとともに、上記の「独自AI機能」の仕組み構築に向けた課題の整理を行う。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIツールの効果的な活用スキルを学ぶ研修の開催案を複数提示いただくとともに、上記の「独自AI機能」の仕組み構築に向けたポイントや現状の技術進捗について助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIツールの効果的な活用スキルを学ぶ研修の開催に向けた具体的な内容検討の段階に至るとともに、「独自AI機能」の仕組み構築に向けたポイントや現状の技術進捗を踏まえ、本市の今後の進め方について再考するヒントを得た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 研修開催等に向けて、途中段階であるため、具体的な成果物はできていない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	生成AIツールの効果的な活用スキルを学ぶ研修の開催に向けた具体的な内容の決定	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 担当者部署職員のみ参加する研修の事前打ち合わせ及び助言であったため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 生成AIツールの効果的な活用スキルを学ぶ研修の開催に向けた具体的な内容を決定し、研修を開催するとともに、生成AIツールを活用したさらなる業務効率化につながるポイント・工夫について知見を得る。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生成AIを効果的に活用することにより、職員の業務生産性向上を図り、その結果生じた時間や労働力を本来職員が注力すべき市民に寄り添ったサービスや地域課題の解決に向けた創造的な業務に振り向け、市民の幸福な生活の実現につなげる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

